

2014/05/9

ドキュメントレビューと承認

本日のミッション

1. ドキュメント作成

- MIRS130?解体報告書
 - MIRS14CPは組立手順報告書
- プロジェクトブース整備報告書
- 標準部品製作計画書
- 標準部品試験計画書

2. 標準ボードプロジェクトの結成

ドキュメントレビューについて

- マネージャがドキュメントを登録する
- レビューに報告し, レビューを受けられる段階にあるか**事前チェック**を受ける
- レビューは班員全員(原則) + レビューで実施する
- リーダが進行し, ドキュメントを作成した担当者が解説する

ドキュメントレビューについて

- 予約制
 - 事前に, レビュー実施日時をレビューアに確認
 - 授業時間以外でも可能な範囲で対応
- **最大40分**
 - 超える場合は際レビュー
- 今日レビューできる場合は, レビューアの都合を確認して開始時間を決めること

レビュー議事録

- レビューの際は、**議事録**をドキュメントとして作成・登録
 - 実施時間, 場所
 - 出席者(教員含む)
 - 指摘事項とそれに対する対応
- 議事録の作成担当者は持ち回り

承認について

- ドキュメントレビューで指摘された点を修正
- 指摘事項が軽微であれば、ドキュメント改訂後（マイナー番号更新）、レビューに承認を受ける
- 重大な指摘を受けた場合は再レビューを実施
- ドキュメントの中で引用したリンク先のドキュメントも読み込んでおくこと

中間試験までのスケジュール

- 5/9 解体報告書、プロジェクトブース整備報告書、標準部品製作計画書・試験仕様書の作成
- 5/16 ドキュメントレビュー
 - プロジェクトブース整備報告書は対象外(承認は受ける)
- 5/21 安全講習、ケーブル製作講習、機械加工講習
- 5/23 標準部品製作
 - ケーブル、機械部品、超音波センサボード、データボード
- 5/30 標準部品製作
 - モータ制御ボード、ケーブル、機械部品

標準部品製作計画書

- 標準部品チェックシートにより、不足品をピックアップし、製作計画を立てる。
- 5月中の予定を考慮し、スケジュールを組む。
- 分担者を決める。
- 製造仕様書については、該当するドキュメントにリンクを張ればよい。(モータ制御ボード、ドータボードのリンクはそれぞれの仕様書が出来上がってからリンクを張る。)
- 白線センサは標準部品の対象外とする。

- このドキュメントが承認されないと、部品製作に取りかかれな
ない。(5/22までにレビューを通すこと)

標準部品試験計画書

- 製作した標準部品の試験計画を記載する。
 - スケジュールと担当者、試験内容
- メカ部品については外形寸法、穴位置・大きさのチェックなどでよい。
- ボードについては、導通チェック、実装チェック、動作試験について記載する。
 - ただし、モータ制御ボードの動作試験については、モータ制御ボード動作試験仕様書にリンクを張ればよい。
- 5/23日までにレビューを通すことが望ましい。遅くとも30日までは通す。

標準ボードプロジェクト

- FPGAボードを変更する関係で、モータ制御ボード、ドータボードを新しく製作する必要がある。
- 現在、回路設計は行われているが、基板加工データがない状態
- また、MIRSのモータ・エンコーダを使った動作検証が行われていない状態
- チーム横断でプロジェクトを作り、上記のボードの基板加工データの作成と、動作検証を行う。
- 開発チーム各1名、プロジェクトチーム2名の6名で構成
- 新標準ボードの動作検証が遅れると、MIRS開発全体に

開発スケジュール

- 5/9 結成、基板加工データの作成
- 5/16 基板加工
 - ドータボードについては部品実装・導通チェックを行う
- 5/23 ドータボード基板加工データの提供
 - ドータボード製造仕様書作成
 - モータ制御ボード動作試験（試験プログラムは牛丸が提供）
- 5/30 モータ制御ボード基板加工データ提供
 - モータ制御ボード製造資料書、試験手順書作成
- プロジェクトメンバを選出し、14時に第6プロジェクトブースに集合
- 新標準ボードの開発・動作検証が遅れると、MIRS開発の進捗に大きな影響を及ぼす。**プロジェクトの役割は重大**

授業資料

- 授業で示した資料については、MIRS14SF 管理台帳の「MIRS14SF 授業資料リンク」からリンク
- [MIRS14SF-DATA-0001](#)